

1263：イムノクロマト法等によるカドミウム濃度簡易測定 のムギ、ダイズ、野菜への適用

食品中のカドミウム濃度の国際基準値設定

背景

国内でもコメ以外の食品で基準値が設定される見込み
畑作物生産においても基準値を満たすことが必要

野菜・ムギ・
ダイズ

従来の農作物中カドミウム濃度分析
高額な分析機器が必要→分析機関が限定
分析には数日間必要 →出荷に間に合わない
→外部委託＝高額(5,000円以上/検体)

高額な分析機器が不要→
生産現場での出荷前自主
分析

研究内容

最適な試料前処
理方法の確立
抽出条件等の検討

簡易迅速分析法
の確立
適用性・精度確認
現地活用法検討
マニュアル作成

簡易迅速分析

試料前処理

振とう抽出 → ろ過 → カラム精製

イムノクロマト

抗原抗体反応 → イムノクロマト → 測定

畑作物生産、出荷、流通段階において利用可能な
カドミウム簡易・迅速分析法の開発

食の安全・信頼の向上

